

(様式 3)

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

| | | | |
|--------|---|----|--------|
| 代表者氏名 | 三浦麻子 | 所属 | 関西学院大学 |
| 研究会等名称 | サイエンスコミュニケーション研究会 | | |
| 成果概要 | <p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 7 名 (うち認定心理士 0 名) 非会員 10 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>心理学の学術的成果をなるべく正しくわかりやすく社会に向けて情報発信する手段としてのサイエンスコミュニケーション, 特に科学記事として伝達するサイエンス・ライティングを実践し, 習熟することにある.</p> <p>2017年3月10日に開催した研究集会では, 研究会メンバーの山田祐樹が, 自身のサイエンス・ライティング実践経験を踏まえて, 心理学のサイエンスコミュニケーションに際する問題とその解決策について講演し, 参加者との議論を行った (添付資料参照).</p> <p>さらに, 対面での研究集会以外に, 以下のとおり, Web 上でもサイエンス・ライティングの成果公表を行った.</p> <p>1)心理学ミュージアム (村山綾・田渕恵) 人はなぜ加害者への厳罰を求めるのか? http://psychmuseum.jp/error_management/</p> <p>2)サイキサイエンス (山田祐樹) http://yamadayuk.wixsite.com/psych</p> <p>3)KG・PsySci Reports (三浦麻子ほか) http://kg-psysci.wixsite.com/sciencewritings</p> <p>2017 年度は, サイエンス・ライティング実践を引き続き継続すると共に, 活動の周知および拡大のために, 広く記事を公募し, 優秀なものに賞金を授与する「サイエンス・ライティングコンテスト」を実施したいと考えている.</p> <p>また, 日本心理学会第 81 回大会で開催される博物館小委員会企画シンポジウムに三浦が登壇する予定である.</p> | | |

研究集会参加者リスト

| 〈研究会名〉 | | | | |
|-----------------------------|-------|----------------|----|-----------|
| サイエンスコミュニケーション研究会 | | | | |
| 研究集会開催日： 2017 年 3 月 10 日(金) | | | | |
| | 氏名 | 所属 | 会員 | 認定 心理士 |
| 1 | 三浦麻子 | 関西学院大学 | ○ | |
| 2 | 山田祐樹 | 九州大学 | ○ | |
| 3 | 武田美亜 | 青山学院女子短期大学 | ○ | |
| 4 | 小川洋和 | 関西学院大学 | ○ | |
| 5 | 田淵恵 | 日本学術振興会・関西学院大学 | ○ | |
| 6 | 中村早希 | 関西学院大学 | | |
| 7 | 北村英哉 | 関西大学 | ○ | |
| 8 | 清水裕士 | 関西学院大学 | ○ | |
| 9 | 稲増一憲 | 関西学院大学 | | |
| 10 | 白井理沙子 | 関西学院大学 | | |
| 11 | 光藤優花 | 関西学院大学 | | |
| 12 | 安枝貴文 | 関西学院大学 | | |
| 13 | 西村友佳 | 関西学院大学 | | |
| 14 | 大工泰裕 | 大阪大学 | | |
| 15 | 清水計法 | 大阪大学 | | |
| 16 | 春田悠佳 | 上智大学 | | |
| 17 | 山本晶友 | 上智大学 | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |

(様式5)

2017年 3月 21日

日本心理学会研究会 2016 年度会計報告書

研究会名称 サイエンスコミュニケーション研究会

研究会番号 研16017

助成金額 50,000

| 年月日 | 項目 | 金額 |
|-----|----|------|
| | なし | |
| | | 支出合計 |
| | | ¥0 |

第13回KG-RCSPセミナー 2017/3/10

共催

公益社団法人日本心理学会-

サイエンスコミュニケーション研究会

認知心理学の周辺事態

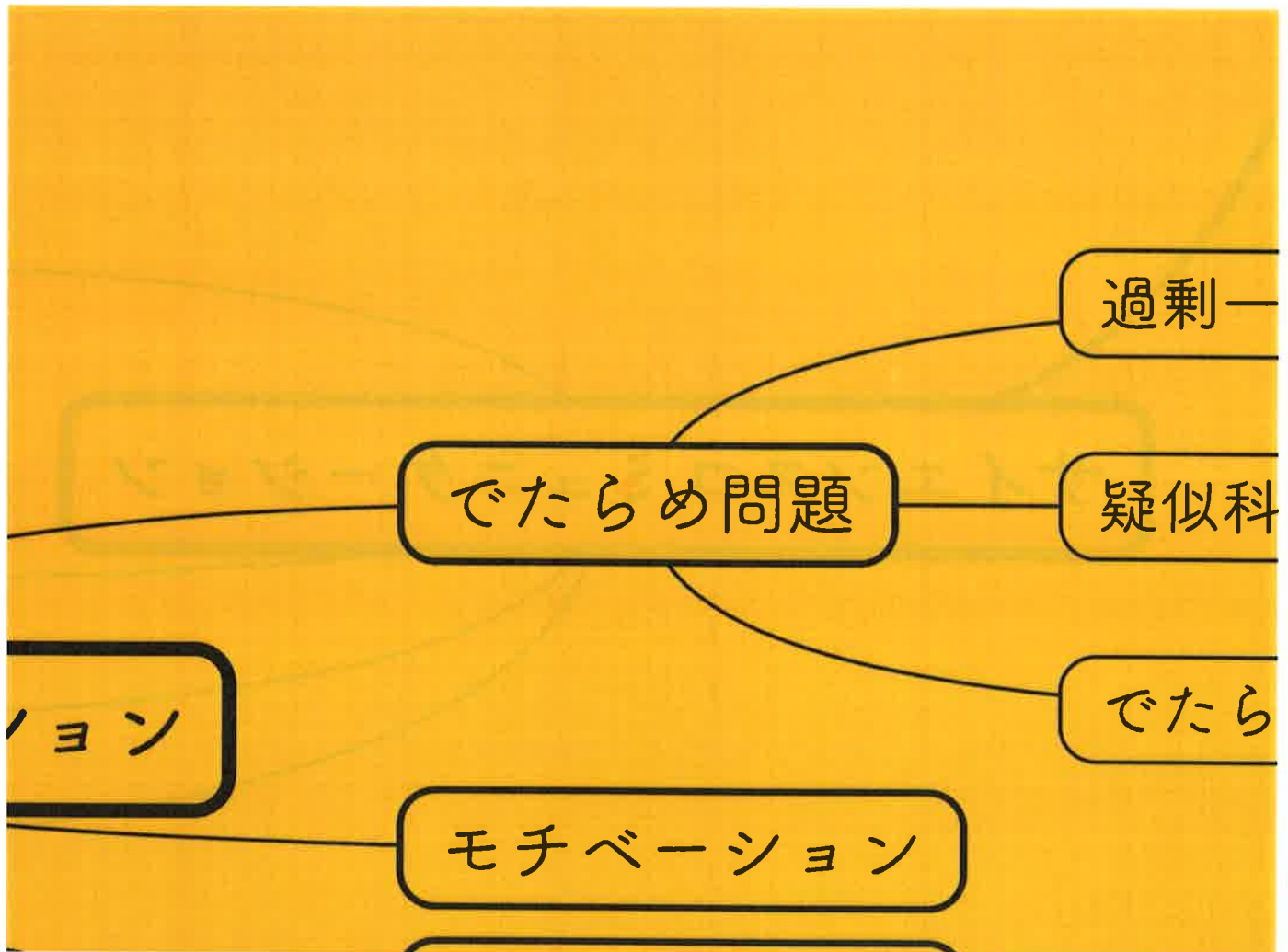
山田祐樹

九州大学 基幹教育院



サイエンスコミュニケーション

以降はみなさんのお知恵をお借りしたいことばかり
なので、問題提起系がかなり多いです



心理学の研究成果は毎日いろいろ出てます

すぐに面白いと思うのもあれば、「なんでこんな当たり前のことをわざわざ金出して研究する必要があったんだ？」と思う(思われる)ものもあります

(実際私のプレスリリースについても、某掲示板でみんな言ってました)

ネコの時はすごかった (Saito & Shinozuka, 2013, *Animal Cognition*)



ネコの時はずごかった (Saito & Shinozuka, 2013, *Animal Cognition*)



相良 勇太 @Lptak

フォローする

そりゃそうでしょ...と思ったらやっぱり総ツッコミだ。まあ飼ってる人は知ってる。Reading... 痛いニュース(ﾉ∀): ネコは飼い主の声を聞き分ける...東大研究グループ発表 - ライブドアブログ blog.livedoor.jp/dqnplus/archiv...

返信 リツイート いいね 2013.03.28 12:15



古市幸雄 @furuichi130

フォローする

ネコは飼い主の声聞き分ける、東大研究グループ発表：こんなこと猫を飼ったことがある人ならわかっている。いちいち研究費を使って、証明する必要があることなのか？ 経営者の感覚からすると、身銭を切らない研究は無駄遣い三昧だ。税金でしょ？

headlines.yahoo.co.jp/videonews/jnn?...

返信 リツイート いいね 2013.03.28 09:54



三浦哲也 @miura_lab0

フォローする

えと・・・、それは飼ってれば経験的に分かること。どこに新規性のある研究だったのでしょうかね・・・。研究を紹介して貰うのって難しいよね・・・。／ネコは飼い主の声聞き分ける、東大研究グループ発表 (TBS系 (JNN)) - Y!ニュース

headlines.yahoo.co.jp/videonews/jnn?...

返信 リツイート いいね 2013.03.28 09:07

過剰一般化, 後知恵バイアス

「アメリカ軍兵士」

疑似科学化

カラーバス効果

Wikipedia

何らかのブロ

でたらめ非対称性問題

特定の方々が「心理学の本」を大量に出版されています



こうした本の中には、特定の実験結果を過剰に一般化して紹介したり（絶対に〇〇できる〇〇法！等），科学的根拠の無いことを紹介したりしてるものがあります（〇〇の法則等）

カラーバス効果

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

聞いたことない

カラーバス効果（カラーバスこうか、*color bath*）とは心理学用語の一つである。カラーバスは「色を浴びる」の意。意識していることほど関係する情報が自分のところに舞い込んでくるようになるといったものである。例えば、「今日のラッキーカラーは赤」といわれると、街でその色ばかりに目が行くなども、カラーバス効果である。

カテゴリ: 心理学

- 最終更新 2011年8月19日 (金) 14:57（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。
- テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。

<http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=カラーバス効果&oldid=38853704> (2014年3月14日)

心理学



歴史・分野

基礎心理学

異常・生物
認知・発達
比較・文化
実験・進化
数理・人格
社会

応用心理学

臨床・消費者
教育・健康
組織・産業
法・労働衛生
政治・学校
スポーツ・軍事

一覧

心理療法

Startupmind of HackathonPost

DISCOVER THE ART OF PUBLISHING

心理用語で有名なカラーバス効果は潜在意識とつながっている！？

心理用語で有名なカラーバス効果は潜在意識とつながっている！？

【心理学用語で有名なカラーバス効果は潜在意識とつながっている！？】

心理用語で有名なカラーバス効果は潜在意識とつながっている！？

フェイスブックでシェアする



【心理学用語で有名なカラーバス効果は潜在意識とつながっている！？】

あなたはカラーバス効果という言葉を知っていますか？

人間には無意識のうちに、あるひとつのことに対して感情を覚えることとそれについての判断が次から次へと入ってくるというものです。

対象物に対して気にかけるだけで全く違った世界が見えてきます。おそらくあなたも感じたことがあるのではないのでしょうか。

今回はこのカラーバス効果と潜在意識の繋がりについてと、ちょっとした応用を記事にしてみました。

Recent Posts

リーダーシップに一番必要な資質は勇気だと認める

頑張っている人ほど

リーダーは、常に進んで先を行ってなくてはならない

「し」がある

Recent Comments

Archives

March 2017

February 2017

January 2017

December 2016

November 2016

October 2016

September 2016

August 2016

January 2016

October 2015

September 2015

August 2015

Google Scholarで「**color bath effect**」をぐぐっても
一件も引っかからなかった

wikipediaページにも「この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。

出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。

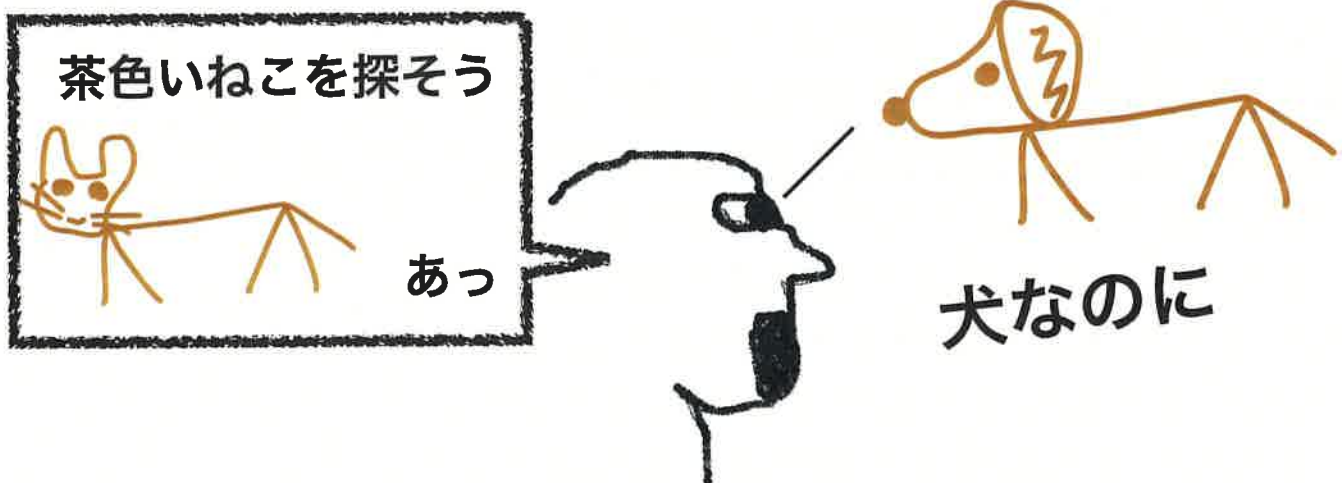
(2011年4月)」と書かれている



あやしい

随伴性注意捕捉

注意の構えに一致する対象は、たとえ探そうとしていなくても見つけてしまう (Folk, Remington, & Johnston, 1992)



ちなみに、Google Scholarで「**contingent attentional capture**」をぐぐったら1030件引っかかった

こうした誤情報は、一般からの適切な心理学の理解のためには**害**にしかならないので、**駆逐**されなければなりません

でも専門家の研究者は忙しいのでこれを一つ一つ駆逐する余裕がありません・・・したがって、でたらめ情報は消滅するよりも拡散するスピードのほうが圧倒的に早いです

(でたらめ非対称性原理, Brandolini, 2013)

どうしよう？

でたらめ非対称性

モチベーション

誰がやるのか？

サイコミュには何ができるのか？

とりあえず研究者にもサイエンスライティングさせるか？

どうやって？ やはり何かうまみを与えるほかない

査読については、査読ポイントを貯めさせてオープンアクセス代にしてあげたらどうだという提案が出てた (Gurwitz, 2017)

Correspondence

Does child survival limit family size?

Hans Rosling (1948–2017), physician and epidemiologist, famously upturned assumptions widely held by the public and by the development community—assumptions that, thanks to US President Donald Trump, are back in the spotlight. A recurring theme of Rosling's was that family sizes have been shrinking even though child survival rates have improved (see, for example, *Nature* 540, 330–333; 2016). Although reducing infant mortality is an unfettered good, we are concerned that key family-planning initiatives could be lost if governments uncritically assume that it leads to people having fewer children. Rosling's global statistics

California, USA.
Duff Gillespie Johns Hopkins University, Maryland, USA.
potts@berkeley.edu

Model to accelerate epidemic responses

On behalf of the Scientific Advisory Council of the influenza data-sharing initiative GISAID (www.gisaid.org), I suggest that the principles of this long-standing and successful programme could be extended to help speed on-the-ground responses to other emergent viral threats.

GISAID operates under a unique Database Access Agreement that governs sharing of data in its EpiFlu database without infringing intellectual-

John W. McCauley The Francis Crick Institute, London, UK.
john.mccauley@crick.ac.uk

Locals embrace China nuclear project

Public support for China's nuclear energy programme plummeted after Japan's Fukushima disaster in 2011. So far, however, there have been no reported protests against a proposed nuclear power plant in Zhangzhou in southeast China. Other nations could learn from the strategy used by the authorities to make this project acceptable to the public.

After announcing the proposal in October last year, China's National Nuclear Corporation and the regional government engaged with local communities

Award bonus points to motivate reviewers

The proliferation of scientific journals is making it harder for editors to recruit peer reviewers. Various incentives (see, for example, *Nature* 514, 274; 2014) have not substantially changed an archaic system. I propose a smart solution that would benefit reviewers, authors and journals—namely, to award bonus points to reviewers for use towards their own open-access publishing fees.

An estimated 63 million hours were devoted to peer review in 2015 (M. Kovanis *et al.* *PLoS ONE* 11, e0166387; 2016). However, most journals still continue to thank reviewers merely through an automatic e-mail. Under my proposed system, journals would award points as e-coupons to

似たようなこと
できませんかね？

消費者側にも困った特性があります

- ・ポップサイコロジーをばんばんありがたがる (本の例)
- ・ガチ研究をありがたがらない (ネコの例)

ことがある

「アメリカ軍兵士 –解説的書評–」 Lazarsfeld (1949)

兵士によく見られる6つの特徴：

1. 学歴の高い兵士は、学歴の低い兵士よりも精神神経症状を呈しやすい

(↑一般人よりもインテリが精神不安定なのは当たり前だろ)

実は本当はこれとは**全く逆**だった
低学歴の兵士の方が神経症傾向が高かった

(↑ああそう、低学歴な人はもちろん精神力とか弱いよね)

じゃあ何が当たり前だったんだらろう？

ヒトは、(その真実が何であろうとも)自分の中で
容易につじつまを合わせられる時、それをあたかも
最初から知っていたかのように思う

(後知恵バイアス, HARKing)

こうした特性を考慮した上で、じゃあどうやって
アプローチしていったら良いのでしょうか？

補足

「カラーバス効果」のWikipediaの記事は
ついに削除されてました！
(2017年2月26日確認)

誰かががんばった